

資料2

安曇野市子ども・子育て支援事業計画

～ 令和5年度 上半期事業報告 ～

子ども・子育て支援事業計画

1 「幼児期の教育・保育」について <所管課：こども園幼稚園課>

【令和5年度（計画）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号	2号		3号		
	保育の必要性	なし	あり			あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		557	0	1,588	635	92	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	557	0	1,588	635	92	
	教育・保育施設※	514	0	1,582	509	55	
	認可外保育施設	43	0	3	5	3	
	地域型保育事業	-	-	-	96	28	
	事業所内保育	0	0	3	25	6	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	0	0	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【令和5年度（上半期実績）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号	2号		3号		
	保育の必要性	なし	あり			あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		450	0	1,625	622	109	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	450	0	1,625	622	81	
	教育・保育施設※	440	0	1,594	464	48	
	認可外保育施設	10	0	31	9	0	
	地域型保育事業	0	0	0	134	28	
	事業所内保育	0	0	0	15	5	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	0	△28	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【実績からの考察及び今後の検討課題】

3歳以上児に係る幼児期の教育・保育ニーズに対する確保内容については、不足なく確保されているものの、3歳未満児に係る保育ニーズは増加傾向にあり、年度途中での入園希望者において待機児童が発生している。そうした状況から小規模保育事業所を令和6年4月豊科地域に開所予定です。

2 「地域子ども・子育て支援事業」について

(1) 妊婦健康診査

<所管課：健康推進課>

[単位：人回/年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	7,413	3,308
② 確保内容	7,413	3,308
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和5年4月～令和5年8月までの実績と9月の見込み（県外受診含む）

妊娠届を提出したすべての妊婦に対して、妊婦の健康保持および増進を図るために妊婦一般健康診査受診票の交付を実施しています。今後も妊婦健康診査の定期受診を勧めていきます。

(2) 乳児家庭全戸訪問事業

<所管課：健康推進課>

[単位：人/年間]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	623	205
② 確保内容	623	205
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

健康推進課保健師又は委託先の助産師が、出産後、全ての家庭に連絡し、対応できる体制を整えていますが、出生数減少に伴い訪問実績も減少しています。出産後は子育てへの不安が大きくなりやすいため、今後も全ての家庭へ訪問できる体制を継続していきます。

(3) 地域子育て支援拠点事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人回/年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	19,032	5,399
② 確保内容	19,032	5,399
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

9か所の児童館において実施した地域子育て支援拠点事業には、4～9月の上半期は合計5,399人が参加しました。開催回数は326回で1回の平均参加人数は、16.6人でありました。

開催回数、事業内容はコロナ前に戻りつつあり、昨年同期より1回あたりの参加人数も増加しています。子育て世代の生活スタイルの変化もあり、ニーズや参加傾向を把握した支援拠点づくりが課題です。

(4) 延長保育事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人/年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1,160	259
② 確保内容	1,160	259
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児における保育必要量を短時間認定（利用時間8：30～16：30）から標準時間認定（利用時間7：30～18：30）へ変更するケースが増加傾向にあるため、延長保育の利用者は減少しています。

(5) 一時預かり及び幼稚園の預かり事業

<所管課：こども園幼稚園課>

① 幼稚園における在園時を対象とした一時預かり（幼稚園型Ⅰ）

[単位：延人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	154	48
② 確保内容	154	48
③ 過不足 (②-①)	0	0

② 認定こども園等における一時預かり（幼稚園型Ⅰ・Ⅱ以外）

[単位：延人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	2,813	406
② 確保内容	2,813	406
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

認定こども園における一時預かりは、年間計画の約14%程度となっており、当初計画より減少傾向となっています。これは、育児休暇の延長制度の利用増加により結果的に利用が減少したものと考えられます。しかし、一時預かりが待機児童に係る保育の受け皿となっているため必要な事業です。

(6) 病児・病後児保育事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	538	39
② 確保内容	538	14
病児・病後児対応型	501	0
ファミサポ	37	14
③ 過不足 (②-①)	0	25

【実績からの考察及び今後の検討課題】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業受託者である安曇野赤十字病院の施設的な状況等から、令和3年12月から令和5年9月まで休止していましたが、令和5年10月から事業を再開しています。今後は安定した事業継続ができるよう、代替場所も含めた検討を行います。

(7) ファミリー・サポート・センター事業 <所管課：子ども家庭支援課>

(就学前児童)

[単位：延人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	887	683
② 確保内容	887	683
③ 過不足 (②-①)	0	0

(就学児童)

[単位：延人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1,039	197
② 確保内容	1,039	197
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

前期の全体的な傾向として、子どもの習い事等の場合の援助、保育施設の登園前・帰宅後の預かり支援が約半数を占めており、特に産前・産後の育児補助に対する依頼が急増（32件、25件増）しています。

今年度の9月時点で、依頼会員数は11人増の1,047人となっていますが、協力会員数は3人増の150人に留まっています。また、依頼会員1,047人の内、実利用者は80人であり、低調と言えることから、利用促進及び経済的負担の軽減を図るため、要件を満たす家庭を対象に利用料金の一部助成を実施している。今年度は9月末時点で10件の申請をいただいています。

なお、協力会員数を増やす試みとして、昨年度より協力会員養成講習会を前期及び後期の2回の実施に増やしており、前期は15人に受講していただきました。引き続き、委託先との定期的な打ち合わせを実施し、依頼会員及び協力会員共により多くの登録者を確保できるような体制の整備に努めます。

(8) 放課後児童クラブ事業

<所管課：子ども家庭支援課>

(低学年)

[単位：人/年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	487	701
1年生	199	263
2年生	152	242
3年生	136	196
② 確保内容	487	701
③ 過不足 (②-①)	0	0

(高学年)

[単位：人/年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	257	244
4年生	86	138
5年生	82	85
6年生	89	21
② 確保内容	86	184
③ 過不足 (②-①)	△171	△60

【実績からの考察及び今後の検討課題】

9月末時点での通年利用者の登録者数を計上しております。

5、6年生は実施クラブ（2クラブ）の数値から全体で実施した場合の見込を算出しました。高学年の欄の②確保内容は4年生138人と、5年生34人+6年生12人（実績数）の合計となっております。

利用希望が年々増加していることに加え、6年生までの受入を市全体に拡げる課題があります。引き続き受入施設の整備やスタッフの確保などについて関係機関と調整を行い、児童クラブを必要としている人が利用できるようにしていきます。

(9) 利用者支援事業

<所管課：健康推進課>

[単位：箇所]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1	1
② 確保内容	1	1
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

妊産婦及び乳幼児の実態を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種相談を通じ、妊娠出産後の見通しが持てるように支援プランの策定や、必要に応じて地域の関係機関との連絡調整を行っています。核家族化等により支援者がいない方も増えており、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行い、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない相談支援を引き続き実施していきます。

(10) 養育支援訪問事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	12	1
② 確保内容	12	1
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

NPO 法人 momo への委託により実施しています。家庭児童相談や母子保健相談、乳児家庭全戸訪問事業等において支援の必要性が高い家庭が対象となっています。令和5年度上半期は1世帯の利用があり、11回の訪問を行いました。

(11) 子育て短期支援事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	111	32
② 確保内容	111	32
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

松本赤十字乳児院と松本児童園の2施設に委託を行い実施しています。7世帯、32回の利用がありました。今年度は新型コロナウイルス等による受入中止期間が発生していないため、昨年度に比べ堅調な利用となっています。申請理由としては、出張など仕事によるものと、育児負担の軽減、育児不安が主なものとなっています。

(12) 実費徴収に係わる補足給付を行う事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人／年]

項目	令和5年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	12	10
② 確保内容	12	10
③ 過不足 (②-①)	0	0

【実績からの考察及び今後の検討課題】

生活保護世帯に係る実費徴収の補助については、生活支援担当と連携を図り給付を行っています。また、幼児教育・保育の無償化に伴い、未移行の幼稚園を利用する低所得者世帯および多子世帯に対する副食費の費用補助についても補足給付を行っています。

(13) 多様な主体が本制度に加入することを促進するための事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

私立認可保育施設に対して、保育専門員等を派遣し必要な支援・相談を行いました。

3歳未満児の増加する保育ニーズに対応するため、小規模保育事業所を令和6年4月豊科地域に開所予定です。